

第7回臨床ストレス応答学会大会プログラム

<一般演題（口演）：発表8分+質疑応答4分，合計12分>

<一般演題（ポスター）：発表3分+質疑応答3分，合計6分>

11月24日（土）

9:50-10:00 開会挨拶（大会長：野村 馨）

10:00-11:12 セッション1（口演）ストレス応答機構

座長：久保田広志（秋田大学大学院）

三谷昌平（東京女子医科大学医学部）

- 01 ほ乳類低温ショックタンパク質 Cirp の生理機能
藤田 潤
京都大学医学研究科分子病診療学
- 02 超好熱性古細菌由来 II 型シャペロニンのリング内サブユニット間協調作用機構に関する研究
有田真優乃¹、守谷和騎¹、真壁幸樹²、桑島邦博²、佐々木裕次^{3,4}、関口博史⁵、養王田正文¹、
¹農工大・院工・生命工、²岡崎統合バイオ、³東大・新領域物質系、⁴JST CREST 佐々木チーム、
⁵高輝度光科学研究センター
- 03 グループ II 型シャペロニンアシンメトリックリング複合体構築とリング間協調作用の解析
山本陽平¹、阿部由寛¹、守谷和騎¹、阿部哲也¹、関口博史²、佐々木裕次³、養王田正文¹
¹農工大・院工・生命工、²高輝度光科学研究センター、³東大・新領域物質系
- 04 選択的スプライシング因子 Tra2β を介した Bcl-2 の転写後調節
桑野由紀、梶田敬介、佐竹讓、赤池瑤子、本田真奈美、藤田絹代、西田憲生、増田清士、六反一仁
徳島大学大学院・ヘルスバイオサイエンス研究部・ストレス制御医学分野
- 05 細胞内のタンパク輸送制御機構における ADAMTS9/GON-1 の機能解析
吉名 佐和子^{1,2,5}、榊 建二郎¹、林 亜紀^{1,2,3}、安藤 恵子^{1,2,4}、井上 英史⁵、飯野 雄一⁶、
三谷 昌平^{1,2,7}
¹東京女子医科大学、²CREST、³東京大学医学部アレルギーリウマチ内科、
⁴埼玉大学脳科学融合研究センター、⁵東京薬科大学、⁶東京大学生物化学科、⁷TIIMS
- 06 ミトコンドリア由来活性酸素が X 線誘導アポトーシスをコントロールする
犬童寛子¹、小澤俊彦²、馬嶋秀行^{1,3}
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座¹・宇宙環境医学講座³、²横浜薬科大学健康薬学科

11:13-12:37 セッション2（口演）ストレス応答と病態

座長：松岡雅人（東京東京女子医科大学医学部）

鳥越俊彦（札幌医科大学大学院）

- 07 変異 BiP ノックインマウスの加齢病変
青江知彦、三村尚也、木村敬太、小見田真理、奥山陽太、神 久代
千葉大学大学院医学研究院麻酔科学
- 08 HeLa 細胞におけるトリブチルスズ曝露によるインターロイキン-8（IL-8）誘導
稲毛田清、松岡雅人
東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学一
- 09 ME3738 によるインターロイキン6 誘導を介した α1-acid glycoprotein と serum amyloid A による
肝炎抑制効果

西山 省二
大阪大谷大学薬学部医薬品開発学

- 10 筋萎縮性側索硬化症原因タンパク質 SOD1 変異体の凝集はアクチンフィラメントによって制御される
田村 拓、久保田広志
秋田大学工学資源学研究科生命科学専攻
- 11 癌幹細胞におけるストレス応答転写因子発現の意義
安田和世、鳥越俊彦、廣橋良彦、高橋あかり、坂 絵利、佐藤昇志
札幌医科大学医学部病理学第 1 講座
- 12 腫瘍に高発現する酸化酵素 ER01-a は、抗腫瘍免疫応答を抑制する
田中 努^{1,2}、田村保明¹、久木田和晴¹、梶原敏充¹、鳥越俊彦¹、岡本芳晴³、佐藤昇志¹
¹札幌医科大学医学部病理学第一講座、²山口大学大学院連合獣医学研究科、³鳥取大学動物医療センター
- 13 Human endoplasmic reticulum oxidoreductin 1- α (hER01- α) の MHC class I 分子発現制御 と癌免疫療法に対する効果予測因子としての可能性
田村保明、久木田和晴、齋藤慶太、鳥越俊彦、平田公一、佐藤昇志
札幌医科大学医学部第 1 病理、札幌医科大学医学部第 1 外科

休憩 8 分

- 12 : 45-13 : 45 ランチセミナー<エーザイ株式会社共催>
座長： 六反一仁（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部）

「薬剤性肺線維症の解明とその治療法の確立」

水島 徹 先生
慶應義塾大学薬学部分析科学講座

休憩 15 分

- 14 : 00-16 : 36 セッション 3 (ポスター) HSP/シャペロン
座長： 親泊政一（徳島大学疾患ゲノム研究センター）
大塚健三（中部大学応用生物学部）

- 14 分子シャペロン HSP90 による AhR 活性制御機構の解明
羽賀愛沙美、福田佳奈、辻 典子、岡本知也、岡田浩孝、永田裕太郎、伊藤英晃
秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻
- 15 アミノグリコシド系抗菌薬による分子シャペロン HSC70 の生理機能阻害
山本 聡¹、横田 伸一¹、伊藤 英晃²、藤井 暢弘¹
¹札幌医科大学医学部微生物学講座 ²秋田大学工学資源学部生命化学科
- 16 HSP70 と HSP90 がクロスプレゼンテーションに与える影響は異なる
山崎千尋、水上修作、榮川伸吾、鶴殿平一郎
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学分野
- 17 HSP70 によるアルツハイマー病の抑制
星野竜也、水島徹
慶應義塾大学薬学部
- 18 北海道産アスパラガス由来抗ストレス機能性食品の開発
前田 哲宏

- 19 RNA 監査機構は小胞体機能の恒常性維持に必要である
榎 建二郎、吉名佐和子、三谷昌平、Randal J. Kaufman
東京女子医科大学医学部第2生理学教室、ミシガン大学医学部生物化学部門
- 14:37-15:13 セッション4 (ポスター) 小胞体ストレス
座長：藤田 潤 (京都大学大学院)
青江知彦 (千葉大学大学院)
- 20 新規小胞体品質管理システムの分子機構の解明
門脇寿枝¹、一條秀憲²、西頭英起^{1, 2}
¹宮崎大学医学部機能生化学、²東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学
- 21 肝星細胞におけるERストレスを介したアポトーシス：コラーゲン特異的分子シャペロン Hsp47 ノックアウトの効果
川崎邦人、池田一雄、潮田 亮、永田和宏
京都産業大学 総合生命科学部、名古屋市立大学大学院医学研究科機能解剖学
- 22 吸入麻酔薬による神経細胞障害と小胞体ストレス
小見田真理、神 久予、青江知彦
千葉大学大学院医学研究院麻酔学
- 23 トリプチルスズ曝露が惹起する小胞体ストレス応答のゼブラフィッシュを用いた解析
蔣池 勇太、松岡 雅人
東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学 (一)
- 24 骨格筋での小胞体ストレスなどによるeIF2 α リン酸化はエネルギー消費を増大させて肥満を抑制する
三宅 雅人、野村 明利、高原 一菜、佐藤 亮祐、倉橋 清衛、親泊 美帆、井上 寛、親泊 政一
徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター生体機能分野
- 25 テアニンによる社会心理的ストレスの抑制
谷田直輝¹、井口和明¹、藤谷圭佑¹、高森仁奈¹、石井直人¹、永島嵩志¹、原 文音¹、小澤隼人³、大久保勉³、ジュネジャ レカ・ラジュ³、星野 稔¹、山田 浩²、海野けい子¹
¹静岡県立大学薬学部生物薬品化学分野、²医薬品情報解析学分野、³太陽化学株式会社
- 15:14-15:56 セッション5 (ポスター) 臨床展開
座長：柴田亮行 (東京女子医科大学医学部)
樋口京一 (信州大学大学院)
- 26 ミトコンドリア-ストレスからパーキンソン病を解明する
小谷野史香、尾勝 圭、松田憲之、田中啓二
東京都医学総合研究所蛋白質代謝研究室
- 27 モヤモヤ病感受性遺伝子産物ミステリンの構造と機能
森戸大介、西川幸希、宝関淳、小谷友里、高島成二、小泉昭夫、藤吉好則、永田和宏
京都産業大学総合生命科学部、名古屋大学細胞生理学研究センター、京都大学大学院農学研究科、大阪大学大学院医学研究科、京都大学大学院医学研究科
- 28 HIPK2 はクロマチン構成因子HP1 γ と相互作用しDNA修復を制御する
赤池 瑤子、増田清士、黒川憲、佐竹譲、梶田敬介、本田真奈美、藤田絹代、西田憲生、桑野由紀、六反一仁
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野

- 29 低酸素ストレスレポーターの開発から見えてきた新たな課題
原口瑞樹^{1,2}、及川大輔¹、赤井良子¹、鯉淵典之²、岩脇隆夫^{1,3}
¹群馬大学先端科学研究ユニット岩脇研、²群馬大学医学系研究科、³理研・基幹研
- 30 精神的ストレスに応答するヒト末梢血マイクロRNAの発現
本田真奈美、桑野由紀、佐竹 謙、梶田敬介、赤池瑤子、藤田絹代、西田憲生、増田清士、六反一仁
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
- 31 孤発性筋萎縮性側索硬化症脊髄内活性化ミクログリアのグルタミン酸放出における可溶性鉄分の関与
猪瀬悠理^{1,2}、戸田晋央^{1,2}、遠井素乃²、加藤陽一郎³、新井田素子³、山本智子³、内山真一郎²、
柴田亮行³
¹東京女子医科大学大学院医学研究科、²東京女子医科大学神経内科学講座、
³東京女子医科大学病理学第一講座
- 32 還元型コエンザイム Q10 の加齢疾患抑制メカニズムの解明 —老化促進モデルマウスを用いた解析—
田 耕¹、澤下仁子¹、久保博司²、西尾信哉³、橋本繁成³、鈴木伸嘉³、吉村豪兼³、王 耀勇¹、森 政之¹、
細江和典⁴、北野光昭²、竹田俊男⁵、宇佐美真一³、樋口京一¹
¹信州大学医学系研究科加齢生物学分野、²カネカ フロンティアバイオ・メディカル研究所、
³信州大学医学部耳鼻咽喉科学、⁴カネカ QOL 事業部、⁵老化促進モデルマウス (SAM) 研究協議会

16:00-16:30 自由討議

16:30-17:30 **特別講演 1**

座長：伊藤英晃（秋田大学工学資源学部）

「タンパク質品質管理機構から細胞内恒常性維持機構へ」

永田和宏 先生

京都産業大学総合生命科学部

17:30-18:30 休憩

18:00-21:00 懇親会

若手研究奨励賞発表

11月25日（日）

8:30-9:00 評議員会、総会

9:00-9:30 若手研究奨励賞 受賞研究発表（口演）

座長（選考委員長）：鶴殿平一郎（岡山大学医学部）

9:30-10:30 **特別講演 2**

座長：市原淳弘（東京女子医科大学医学部）

「Human Endoplasmic Reticulum Disease: from Causality to Cure」

浦野文彦 先生

ワシントン大学医学部

30分 休憩（飲み物、スナックサービス）

11 : 00-13 : 00 **公開シンポジウム** よくある疾患における細胞ストレス研究最前線
座長：橋本悦子（東京女子医科大学消化器内科）

シンポジスト

1. コレステロール代謝と細胞ストレス
野口範子
同志社大学生命医科学部医生命システム学科
2. 脂肪肝の進展：遺伝的バックグラウンドと細胞ストレスの関与
徳重克年
東京女子医科大学消化器内科
3. 肝病態における転写因子Nrf2 の演じる生体防御機構
正田純一
筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻
4. 大腸癌予防と熱ショックタンパク質
内藤裕二
京都府立医科大学消化器内科

13 : 00- 閉会挨拶（学会長：伊藤英晃）